

学校法人専修大学 平成 22 年度予算について

標記の件について、「平成 22 年度予算書」を別紙のとおり編成しましたので、概要を説明致します。

1 予算編成方針

- (1) 平成 22 年度事業計画に基づく、教育・研究環境の質的向上を図る施策に重点を置いた予算編成
- (2) 経常経費における節減体制の推進
- (3) 収支の均衡を図るために必要な減額査定の実施
- (4) 予算制度確立の観点から、当初予算に計上された事業以外の項目は、原則当年度での対応を見送る。(基本的に特別な事情を除き、補正予算の対象としない。)

2 資金収支予算 ー前年度予算額との比較ー

〔概要〕

総額は、333 億 760 万円で前年度予算に比べ 9 億 9,967 万円の減（前年度予算比 2.91%減）の予算規模となっている。

収入の部では、当年度収入合計が前年度予算に比べ 9 億 7,025 万円の減（前年度予算比 3.73%減）で 250 億 2,925 万円。前年度繰越支払資金は、前年度予算に比べ 2,942 万円の減で 82 億 7,834 万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が前年度予算に比べ 12 億 4,749 万円の減（前年度予算比 4.79%減）で 247 億 8,143 万円。次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、前年度予算に比べ 2 億 4,782 万円の増で 85 億 2,616 万円となっている。

〔内容〕

(1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、前年度予算に比べ 1 億 9,243 万円の減（前年度予算比 0.93%減）で 205 億 6,770 万円。新入生の人数（学部・学科・大学院）を専大で 4,726 人、石巻専大で 541 人、短大で 111 人を見込み、全体では 5,378 人（前年度予算：5,511 人）を見込んでいる。また、全学年では、学費完納見込者数を専大で 19,824 人、石巻専大で 1,940 人、短大で 215 人を見込み、全体で 21,979 人（前年度予算：22,332 人）を見込んでいる。
- ② 手数料収入は、前年度予算に比べ 439 万円の減（前年度予算比 0.44%減）で 9 億 8,272 万円。このうち、入学検定料収入は、専大で同額、石巻専大・短大で減額を見込み、前年度予算に比べ 105 万円の減（前年度予算比 0.11%減）で 9 億 4,548 万円を計上している。

- ③ 寄付金収入は、前年度予算に比べ 2 億 6,560 万円の減（前年度予算比 70.02%減）で、1 億 1,370 万円。創立 130 年記念事業資金募金が終了したことにより、特別寄付金収入の減額を見込んでいる。
- ④ 補助金収入は、前年度予算に比べ 2 億 1,751 万円の減（前年度予算比 9.97%減）で 19 億 6,354 万円。このうち、国庫補助金収入は、私立大学等経常費補助金および教育研究装置補助金等の減額を見込み、前年度予算に比べ 2 億 547 万円の減（前年度予算比 9.60%減）で 19 億 3,470 万円を計上している。また、その他の補助金収入は、平成 22 年度より政府開発援助外国人留学生修学援助補助金が廃止されることから、予算計上は行っていない。
- ⑤ 資産運用収入は、前年度予算に比べ 2 億 1,338 万円の減（前年度予算比 40.95%減）で 3 億 766 万円。このうち受取利息・配当金収入は、金利の低下、円高の影響等による減額を見込んでいる。
- ⑥ 資産売却収入は、前年度予算に比べ 148 万円の減（前年度予算比 0.74%減）で有価証券売却収入が 2 億円。
- ⑦ 事業収入は、前年度予算に比べ 5,127 万円の減（前年度予算比 9.48%減）で 4 億 8,985 万円。受託事業収入の減を見込んでいる。
- ⑧ 雑収入は、前年度予算に比べ 3 億 2,713 万円の減（前年度予算比 56.71%減）で 2 億 4,971 万円。前年度予算に比べ教職員の退職に伴う退職金財団交付金収入が減額となっている。
- ⑨ 前受金収入は、平成 23 年度入学者の入学手続き時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、前年度予算に比べ 4,980 万円の減（前年度予算比 1.24%減）で 39 億 6,004 万円。
- ⑩ その他の収入は、前年度予算に比べ 6,458 万円の減（前年度予算比 13.72%減）で 4 億 618 万円。前期末未収入金収入において、退職金財団交付金等の前年度の期末未収入金が減額となっていることによる。
- ⑪ 資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で前年度予算に比べ 4 億 1,736 万円 振替控除額の減（前年度予算比 9.02%減）で 42 億 1,188 万円。平成 22 年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等及び平成 21 年度前受金収入をそれぞれ計上している。

(2) 支出の部

- ① 人件費支出は、前年度予算に比べ 3 億 2,709 万円の減（前年度予算比 2.29%減）で 139 億 3,616 万円。主たる要因は、退職金支出で教職員の定年退職者数の減により前年度予算に比べ 5 億 3,705 万円の減（3 億 353 万円）となったことによる。
- ② 教育研究経費支出は、前年度予算に比べ 10 億 8,526 万円の減（前年度予算比 15.94%減）で 57 億 2,209 万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。
- ・準備品費支出：3,710 万円（2,681 万円の減）
教員個人研究費準備品、研究助成準備品、石巻学生実験準備品等
 - ・図書資料費支出：2 億 2,929 万円（1,732 万円の減）
図書館洋雑誌・和雑誌、加除式資料等
 - ・印刷製本費支出：2 億 5,833 万円（4,162 万円の減）
ニュース専修、各学部・研究科論集、入試問題、学習ガイドブック、各種講座案内等
 - ・旅費交通費支出：2 億 2,694 万円（1,708 万円の減）
向ヶ丘遊園駅－専大間・石巻駅－石巻専大間・仙台駅－石巻専大間路線バス運賃補助、
在外研究員研究旅費、学会出張旅費等
 - ・奨学費支出：5 億 797 万円（8,980 万円の増）
スカラシップ奨学生、学術奨学生、家計急変奨学生、災害見舞奨学生、育友会奨学生、
神山奨学生、下田奨学生等
 - ・補助費支出：2 億 5,629 万円（1,627 万円の減）
研究所運営費、学生団体等活動援助、学生主催行事補助等
 - ・修繕費支出：2 億 2,038 万円（2 億 3,673 万円の減）
神田・生田耐震改修、電気設備・空調設備・給排水衛生設備・消防設備等諸修理保全
等
 - ・委託費支出：15 億 9,176 万円（5 億 603 万円の減）
受付・校舎管理業務、校舎清掃、建物・設備管理業務、各種コンピュータシステム構
築、大学直通バス運行（あざみ野駅－専大、大崎市－石巻専大、県北部－石巻専大、
一関市－石巻専大、北上市－石巻専大）、各種課外講座等
 - ・賃借料支出：3 億 6,810 万円（3 億 1,911 万円の減）
事務用コンピュータシステム、教学システム第 1 次フェーズ、ポータルシステム、
LL 機器一式、図書館各種データベース、全国入試・ターミナル入試会場借用料等
 - ・謝礼費支出：1 億 1,645 万円（1,049 万円の減）
授業科目・課外講座等講師料、シンポジウム・公開講座等講演料等
 - ・雑費支出：6,117 万円（1,743 万円の増）
教育・研究用コンピュータシステム固定資産税・利息、大学入試センター試験成績提
供料等

③ 管理経費支出は、前年度予算に比べ 3 億 2,575 万円の減（前年度予算比 16.13%減）で 16 億 9,405 万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は、以下のとおり。

- ・印刷製本費支出：1 億 5,815 万円（1,087 万円の増）
ニュース専修、入学ガイド・大学案内、入試要項、電車内窓上広告ポスター等
- ・通信運搬費支出：2,804 万円（1,147 万円の減）
各課通信運搬費、学内事務用電話、基本回線専用料、ホームカミング案内状郵送料等
- ・修繕費支出：3,599 万円（1,065 万円の減）
神田 3 号館耐震改修工事、生田食堂館耐震改修工事等
- ・委託費支出：5 億 7,756 万円（1 億 4,275 万円の増）
受付・校舎管理業務、校舎清掃、映画制作、入学センターインフォメーション、
入学ガイド・入試要項等発送、体育寮給食業務等
- ・広告費支出：3 億 7,971 万円（3 億 8,690 万円の減）
学生募集新聞・雑誌広告、全国入試関連駅等看板広告、電車内窓上広告等
- ・謝礼費支出：2,087 万円（2,120 万円の減）
公認会計士監査報酬、オープンキャンパス・体験授業謝礼等
- ・儀式会合費支出：2,706 万円（2,833 万円の減）
理事会・評議委員会懇親会、新任教員就任の会食事代等
- ・雑費支出：1,821 万円（1,124 万円の減）
オープンキャンパス等参加者・学内見学者飲物代等

④ 借入金等利息支出は、前年度予算に比べ 3 億 116 万円の減（前年度予算比 93.11%減）で 2,228 万円。このうち、借入金利息支出は、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金に係る利息を計上している。

⑤ 借入金等返済支出は、前年度予算と同額で 1 億 2,776 万円。償還計画どおりの返済額を計上している。

⑥ 施設関係支出は、前年度予算に比べ 9 億 6,381 万円の減（前年度予算比 73.54%減）で 3 億 4,681 万円。主な内容は、後記の〔主な施設設備等整備事項〕で記載している。

⑦ 設備関係支出は、前年度予算に比べ 11 億 4,405 万円の増（前年度予算比 210.39%増）で 16 億 8,784 万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、前年度予算に比べ 11 億 8,895 万円の増で 14 億 7,003 万円。リース会計の変更に伴う教育・研究用コンピュータ機器導入経費、Web 履修システム導入経費、学内統合認証システム導入経費、無線 LAN 機器、実験・実習機器等を計上している。図書支出は、前年度予算に比べ 4,696 万円の減で 2 億 1,012 万円。

- ⑧ 資産運用支出は、前年度予算に比べ 13 億 8,000 万円の増（前年度予算比 372.97%増）で 17 億 5,000 万円。有価証券購入支出は、有価証券売却収入と同額の 2 億円を計上している。また、退職給与引当資産への繰入は計画により 5,000 万円を計上し、施設設備準備資産への繰入は 15 億円を計上している。
- ⑨ その他の支出は、前年度予算に比べ 4,588 万円の増（前年度予算比 4.98%増）で 9 億 6,692 万円。このうち、前期末未払金支払支出は、前年度予算に比べ 6,847 万円の増で、8 億 2,580 万円。平成 21 年度末に退職する教職員の退職金、2・3 月分退職金財団負担金等を計上している。
- ⑩ 予備費は、前年度予算と同額で 1 億 5,000 万円を計上している。
- ⑪ 資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で前年度予算に比べ 8 億 1,432 万円 振替控除額の増（前年度予算比 100.76%増）で 16 億 2,249 万円。リース会計の変更に伴う機器導入経費の未払金、平成 22 年度末に退職する教職員の退職金等未払金、平成 21 年度における洋雑誌・和雑誌の購入に係る前払金をそれぞれ計上している。

〔 主な施設設備等整備事項 〕

専 修 大 学

- ① 神田トイレ・シャワー室改修 ② 神田・生田耐震改修 ③ 神田照明改修 ④ 学内 LAN 更新改修 ⑤ 生田照明器具改修 ⑥ 生田動力制御盤改修 ⑦ 生田中央監視設備改修
⑧ 教育・研究用コンピュータ関連経費 ⑨ Web 履修システム関連経費 ⑩ 学内統合認証システム関連経費 ⑪ 国際交流会館（仮称）新築工事設計監理料

石 巻 専 修 大 学

- ① 4 号館屋上防水シート改修 ② 実験・実習機器購入 ③ 教育・研究用コンピュータ関連経費

専修大学北海道短期大学

- 教育・研究用コンピュータ関連経費

3 消費収支予算

[概 要]

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債とされない収入）が前年度予算に比べ、13億2,318万円の減（前年度予算比5.06%減）で248億2,505万円。基本金組入額合計が前年度予算に比べ6億9,998万円の減（前年度予算比34.37%減）で13億3,682万円。消費収入の部合計は、前年度予算に比べ6億2,319万円の減（前年度予算比2.58%減）で234億8,823万円となっている。

消費支出の部では、消費支出の部合計が前年度予算に比べ17億9,622万円の減（前年度予算比6.88%減）で242億9,861万円となっている。

当年度消費収支差額は、前年度予算に比べ11億7,303万円の減（前年度予算比59.14%減）で8億1,038万円の消費支出超過額となっている。前年度繰越消費支出超過額（183億6,618万円）を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、191億7,656万円となっている。

[内 容]

※前記の資金収支予算と共通の科目があるので、消費収支予算特有のものについて説明。

(1) 消費収入の部

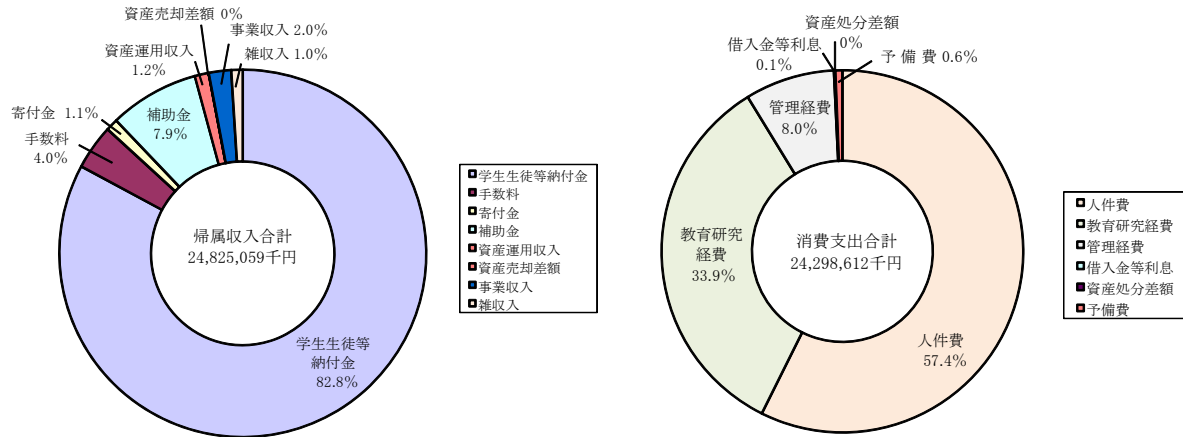
- ① 寄付金は、前年度予算に比べ3億1,560万円の減（前年度予算比54.47%減）で2億6,380万円。創立130年記念事業資金募金が終了したことにより、特別寄付金収入の減額を見込んでいる。
- ② 資産売却差額は、5万円を予算計上している。

(2) 消費支出の部

- ① 人件費は、前年度予算に比べ3億2,709万円の減（前年度予算比2.29%減）で139億3,616万円。退職給与引当金繰入額3億353万円（5億3,705万円の減）を含んでいる。
- ② 教育研究経費は、前年度予算に比べ8億2,214万円の減（前年度予算比9.08%減）で82億3,383万円。減価償却額25億1,173万円（2億6,311万円の増）を含んでいる。
- ③ 管理経費は、前年度予算に比べ3億3,140万円の減（前年度予算比14.54%減）で19億4,811万円。減価償却額2億5,405万円（564万円の減）を含んでいる。
- ④ 資産処分差額は、固定資産処分差額で前年度予算に比べ1,440万円の減（前年度予算比63.65%減）で822万円。機器備品、図書等の処分差額を計上している。

(表1)

平成22年度 消費収支予算科目別構成



(表2)

主要財務比率

比率	算式 (×100)	平成18年度 (決算)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (決算)	平成21年度 (補正予算)	平成22年度 (予算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	53.26 % (52.0 %)	53.34 % (51.4 %)	53.87 % (52.8 %)	54.55 %	56.14 %
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	69.20 % (71.3 %)	68.42 % (71.7 %)	66.54 % (72.3 %)	68.71 %	67.76 %
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	30.61 % (29.3 %)	33.34 % (29.7 %)	33.29 % (31.0 %)	34.63 %	33.17 %
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	6.79 % (8.5 %)	8.44 % (8.7 %)	8.49 % (9.9 %)	8.72 %	7.85 %
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	7.86 % (8.0 %)	△ 1.35 % (7.4 %)	2.44 % (0.2 %)	0.20 %	2.12 %

備考 ()内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

以上